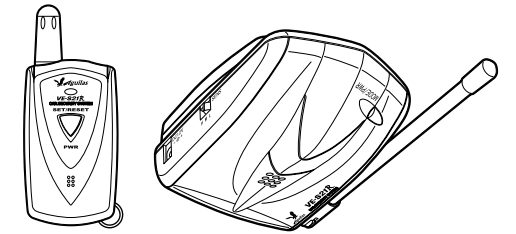


コピテル工業株式会社
YUPITERU



国産12V車専用

このたびは、コピテルのCAR SECURITY SYSTEM「VE-S21R」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると、光とサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上あらしや盗難を未然に防止する簡易型防犯装置です。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備です。

コピテル工業株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 03-550848

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	VE-S21R	S/No.	
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	対象部分 機器本体(消耗品は除く) お買い上げの日から 1年
お客様	お名前	〒	TEL()
	ご住所		
販売店	店名		
	住所		

上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するもの、お貼りください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告

警告：警告を無視した取り扱いをする
と、使用者が死亡や重傷を負う可能性
があります。

注意

注意：注意を無視した取り扱いをする
と、使用者が傷害や物的損害を
こうむる可能性があります。

絵表示について

△ 記号は注意を促す内容であることを告げる
ものです。

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるもの
です。

● 記号は行為を強制したり、指示を告げるもの
です。

ご使用にあたって

使用上のご注意

ご使用前にセンサーユニットの内蔵電池を1時間以上充電してください。
充電は、本機とシガーライターソケットに付属のシガープラグを接続し、車のエンジンをかけて(エンジンキーがACCまたはON)ください。
※走行中に充電されますので、常時シガーライターソケットに接続しておいてください。

■使用するときには、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、空気の振動や衝撃音を正しく検出できません。(オープンカーでは使用できません)

■シガーライターソケットにシガープラグを接続しておきたくない場合は、別売のOP-20と市販の平型ヒューズタイプの電源取り出しコードにより、ACCラインへの接続ができます。(電源がエンジンと連動してOFFにならないと、警戒状態にすることができません)

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- サンバイザークリップ(1)
- シガープラグ(1)
- リモコンスタンド(1)
- 本書(保証書)
- センサーユニット用専用電池(1)
- ボタン電池 CR2032(2)

※センサーユニット用専用電池およびボタン電池は商品に装着してあります。

本機は、センサーにより異常を検知し、警告・警報を発する簡易型防犯装置で、盗難を完全に防止できるものではありません。
また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

仕様

【センサーユニット】
■電源電圧：DC 12V (入力電圧) ■使用電池：DC3.6V (専用ニッケル水素電池) ■送信周波数/出力：426.075MHz/1mW以下(技術基準適合品) ■消費電流：充電中…急速充電：約500mA(最大)・トリクル充電：約20mA、警戒中…約1mA、警報中…約500mA ■警報音圧：90dB/m(サイレン) ■動作温度範囲：-20℃~+85℃ ■本体外形寸法：64.7(W)×35.7(H)×92.8(D)mm (アンテナ部を含みます) ■本体重量：125g(電池含む)

【リモコン】
■使用電池：ボタン電池CR2032(2個) ■電池寿命：約5ヶ月(1日8回操作) ■動作温度範囲：-10℃~+50℃ ■外形寸法：34.0(W)×60.5(H)×17.0(D)mm (アンテナ部を含みます) ■リモコン重量：28g(電池含む)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

各部の名称と働き

センサーユニット

感度設定スイッチ
衝撃(強・弱)感度を3段階から選択できます。
※強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。
(個別に設定することはできません)

DC12Vジャック

(シガープラグ接続端子)
付属のシガープラグを接続して、シガーライターソケットから電源を供給し、センサーユニット専用電池への充電を行います。

サイレン

作動音/警告音/警報音を出力します。
90dB/m

5連スキャンニングLED

警戒中・・・左右から順次点滅します。
警告・警報中・・・一定時間すべてのLEDが点滅を繰り返します。

リモコン

赤外線送信部

インジケータランプ
リモコン操作時や通報時に点灯/点滅します。
弱衝撃・・・2回点滅します。
強衝撃・・・3回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。
ドア開放・・・4回点滅を2.5秒おきに2分間繰り返します。

操作ボタン

電源のON/OFFや警戒/解除、通報音停止の操作ができます。
※警戒・解除操作は車輻から2m以内で操作できます(赤外線式)

ブザー

操作確認音や通報(通知)音を出力します。
弱衝撃・・・「ビュー」が鳴ります。
強衝撃・・・「ビュービュービュー」が2.5秒おきに1分間鳴ります。
ドア開放・・・「ビュービュービュービュー」が2.5秒おきに2分間鳴ります。

内蔵電池

市販のボタン電池で約5ヶ月間使用できます。
※1日8回のセキュリティ操作で1週間に2回の通報(1分間)があった場合CR2032×2使用

シガープラグ

DCプラグ

B端子

先端キャップ

マイナス端子

電源コード

ヒューズ(内蔵)

先端キャップを外す(反時計方向に回す)とヒューズを交換できます。(1A)

MODE(モード)/PWR(パワー)スイッチ
自動警戒モード・サイレントモードの切替やセンサーユニットの電源をON/OFFできます。

赤外線受光部

音圧センサー(内蔵)
ドアを開けたときやウィンドウ、ボディが強打されたとき、車内の空気の振動と衝撃音を検知します。

サンバイザーに取り付ける

本機は、付属のサンバイザークリップでサンバイザーに取り付けてください。

付属のサンバイザークリップをセンサーユニットに取り付け、サンバイザーに挟み込む

△警告
運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

△注意
取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

△注意
取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

△注意
取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

△注意
取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

センサーユニットを充電する

お買い上げ時、センサーユニットの内蔵専用電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長期間お車をご使用にならなかった場合は、下記手順で充電を行ってください。
※12V車専用です。DC12V以外では使用できません。

1 付属のシガープラグを、DC12Vジャックと車のシガーライターソケットに差し込む
差し込みにくい場合は、シガープラグは、2~3回左右にひねりながら差し込みます。

2 車のエンジンをかけて、充電する
本機は、シガーライターソケットに接続しておくことで、車の走行中(エンジンキーがACCまたはON)に充電されます。

*充電時間の目安
…電池の状態に応じて急速充電、またはトリクル充電を行い、1~2時間でフル充電されます。(1時間の充電により約1週間の連続警戒(1分間警報動作×2回を含む)ができます)
…急速充電は充電電流が大きくなり、ケースの一部が多少熱くなりますが故障ではありません。

DC12Vジャック

シガーライターソケット

△注意
●シガープラグは、必ず付属のものをご使用ください。
●シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、新しいヒューズ(1A)と交換してください。シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
●交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部に相談ください。

△注意
●シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は「OP-20の使いかた」を参照してください。

△注意
●シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は「OP-20の使いかた」を参照してください。

△注意
●シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は「OP-20の使いかた」を参照してください。

△注意
●シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は「OP-20の使いかた」を参照してください。

△注意
●シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は「OP-20の使いかた」を参照してください。

△注意
●シガープラグの形状が合わない場合や、シガーライターソケットに常時電源が供給される車は「OP-20の使いかた」を参照してください。

OP-20の使いかた (シガーライターを使わず、ヒューズボックスから電源をとれます)

シガーライターソケットに常時電源が供給される車や、シガープラグの形状が合わない場合には、OP-20(別売)と平型ヒューズタイプの電源取り出しコード(市販品)をお買い求めいただき、次のように接続してください。

●電源用直結コードOP-20(別売)
●平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)
※平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

接続方法

●作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
●平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

必ず、エンジンキーのACC ON/OFF操作と連動してON/OFFする回路(カーラジオなど)のヒューズと差し替えてください。

②DC12Vジャックへ
①しっかりと差し込みます
③車の金属部分へ

ヒューズを抜き、電源取り出しコードをバッテリー側に差し込む

平型ヒューズタイプ電源取り出しコード

平型ヒューズタイプ電源取り出しコード

平型ヒューズタイプ電源取り出しコード

平型ヒューズタイプ電源取り出しコード

センサーユニットの電源をONにする

1. エンジンキーをACCの位置にする
2. 操作音「ドミソド」が鳴るまでセンサーユニットのMODE(モード)/PWR(パワー)スイッチを押す(約5秒間)
5連スキャンニングLEDが点灯(0.5秒間)して、センサーユニットの電源がONになります。
※エンジンキーは必ずACCの位置で行ってください。

メモ センサーユニットの電源がONになっていないと警戒できません。

●電源をOFFにするには
センサーユニットの電源がONのときに左記手順を行うと、センサーユニットの電源をOFFにできます。(操作音「ドソミド」)

メモ リモコンの電源がONになっていないと警戒/解除操作や通報を受信できません。

●電源をOFFにするには
リモコンの電源がONのときに左記手順を行うと、リモコンの電源をOFFにできます。(操作音「ドソミド」)

メモ リモコンの電源がONになっていないと警戒/解除操作や通報を受信できません。

●電源をOFFにするには
リモコンの電源がONのときに左記手順を行うと、リモコンの電源をOFFにできます。(操作音「ドソミド」)

メモ リモコンの電源がONになっていないと警戒/解除操作や通報を受信できません。

●電源をOFFにするには
リモコンの電源がONのときに左記手順を行うと、リモコンの電源をOFFにできます。(操作音「ドソミド」)

メモ リモコンの電源がONになっていないと警戒/解除操作や通報を受信できません。

●電源をOFFにするには
リモコンの電源がONのときに左記手順を行うと、リモコンの電源をOFFにできます。(操作音「ドソミド」)

本機の機能を設定する

自動警戒モードについて

本機はリモコン操作による警戒のほか、自動的に警戒する自動警戒モードを搭載しています。自動警戒モードをONに設定すると、以下の条件で警戒状態となります。

- エンジンキーをOFFにしてからドアを開める
ドアを開めた検出ができるとセンサーユニットから「ビッ」(予鈴)が鳴り、5秒後に警戒を開始します。

●エンジンキーをOFFにしてからドアを開める
ドアを開めた検出ができるとセンサーユニットから「ビッ」(予鈴)が鳴り、5秒後に警戒を開始します。

注意

自動警戒モードをONに設定している場合は、エンジンキーをOFFにするとき1分以内に警戒状態になります。

サイレントモードについて

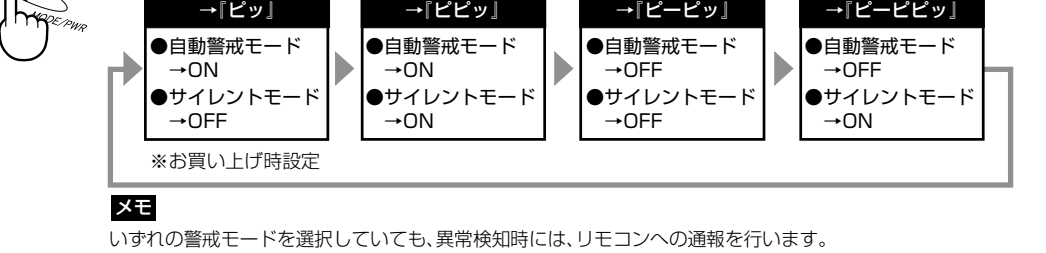
異常を検知した場合でもサイレンを鳴らさない警戒モードです。近所迷惑を気にすることなく、リモコンへの通報およびスキャンングLEDの威嚇による愛車の警戒ができます。

※オートアラーム搭載車では、警戒、解除の際の作動音でオートアラームが反応して、警報を発することがあります。このような車輛ではサイレントモードでご使用ください。

警戒モード(自動警戒モード・サイレントモード)の変更(ON/OFF)手順

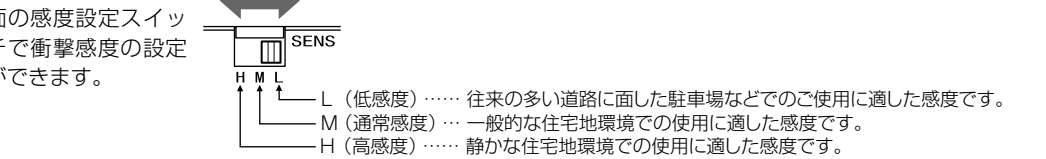
エンジンキーをOFF後、センサーユニットのMODE(モード)/PWR(パワー)スイッチを押すことに警戒モードを変更できます。

※警戒モードは設定を変更しない限り、設定したモードで動作します。



衝撃感度の切替

センサーユニット側面の感度設定スイッチで衝撃感度の設定ができます。



※駐車場周囲の環境や車に合わせて衝撃感度を選択してください。
※周囲の環境により頻繁に警報が鳴るような場合は、感度を下げてご使用ください。
※強衝撃と弱衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)

警戒状態にする

すべてのウィンドウを、完全に閉める

エンジンキーをOFFにしてからドアを開める
ドアを開めた検出ができるとセンサーユニットから「ビッ」(予鈴)が鳴り、5秒後に警戒を開始します。

- エンジンキーをOFFにしてからドアを開める
ドアを開めた検出ができるとセンサーユニットから「ビッ」(予鈴)が鳴り、5秒後に警戒を開始します。

●エンジンキーをOFFにしてからドアを開める
ドアを開めた検出ができるとセンサーユニットから「ビッ」(予鈴)が鳴り、5秒後に警戒を開始します。

降車後、ドアを開める

自動警戒モードに設定していると予鈴が鳴ります。

※サイレントモードONのときは予鈴が鳴りません。

リモコン操作または自動警戒モードにより警戒を開始すると・・・

センサーユニット	作動音「ドミソミ」(サイレントモード時は無音)が鳴り、警戒を開始します。スキャンングLEDがスキャンング動作をします。
リモコン	通知音「ドミソミ」が鳴り、警戒の開始をお知らせします。(サイレントモード時は「ドミソミン」)

通信エリアの確認

リモコンで通報(通知)を受信できるエリア(無線が届く範囲)を確認することができます。

ご自宅と駐車場が離れている場合など、通信エリアの確認信号が受信できることをご確認のうえご使用ください。

操作

センサーユニットのMODE(モード)/PWR(パワー)ボタンを押しながらエンジンキーをOFFにする

センサーユニットから通信エリアの確認信号が定期的に送信されます。(約10分間)

●通信エリアの確認中に車輛のエンジンキーがACCまたはONになった場合は定期送信を停止します。
●通信エリアの確認中に車輛に衝撃やドアの開放など、異常が発生しても通報や警報動作を行いません。

●最初の通信エリア確認信号の送信から10分経過すると確認信号の送信を停止します。自動警戒モードに設定している場合は、確認信号の送信終了の約1分後に警戒を開始します。

●付属のリモコンスタンドにセットしておくこと受信しやすくなります。
●比較的、窓際近くは受信しやすい環境にあります。

警戒を解除する(警報停止)

警戒中にリモコン操作またはエンジンキーで警戒を解除できます。

●エンジンキーによる警戒解除(警報停止)
エンジンキーをかける(エンジンキーをACCまたはONにする)

- リモコン操作による警戒解除(警報停止)
操作確認音「ビッ」が鳴るまで操作ボタンを押す。

※センサーユニットの赤外線受光部にリモコンの赤外線送信部を向けて操作してください。(「リモコンの操作範囲」)

警戒を解除すると・・・

センサーユニットから作動音「ソミドミン」(サイレントモード選択時は無音)が鳴り、警戒解除とともにリモコンに警戒の解除を通知します。

リモコンから通知音「ソミドミン」が鳴り、警戒の解除をお知らせします。

ローバッテリー通知について

センサーユニットの内蔵電池容量が低下すると、リモコンに通知します。

知らぬ間に警戒が解除されている心配がありません。

■センサーユニットの内蔵電池容量が低下すると・・・

センサーユニット	リモコン
リモコンに電池容量の低下を通知します。 ※警戒は継続します。	・通知音「フブフブフブ」 ・インジケータランプ2回点滅

■さらに電池が消耗すると・・・

センサーユニット
警戒を解除します。
・警戒解除をリモコンに通知します。

リモコン
・通知音「ソミドミン」
「フブフブフブフブ」
・インジケータランプ2回点滅

警戒中に異常を検知すると(警告・警報/通報)

警戒中にドアが開いたときや、衝撃を検知したときには、次のような動作や通報を行います。

	ウィンドウやボディに弱い衝撃を受けたとき(警告)	ウィンドウやボディに強い衝撃を受けたとき(警報)	ドアが開かれたとき(警報)
サイレン	「ビュー」が1回鳴ります。	「ビュービュービュー」が2.5秒おきに1分間鳴ります。	「ビュービュービュービュー」が2.5秒おきに2分間鳴ります。 ※最初の3回は短い警報が鳴ります。
スキャンングLED	2回点滅します。	3回点滅を2.5秒おきに1分間繰り返します。	4回点滅を2.5秒おきに2分間繰り返します。
リモコン	通報音「ビュー」が鳴り、インジケータランプが2回点滅します。	通報音「ビュービュービュー」が2.5秒おきに1分間鳴り、その間インジケータランプが3回点滅を繰り返します。	通報音「ビュービュービュービュー」が2.5秒おきに2分間鳴り、その間インジケータランプが4回点滅を繰り返します。

※モ

●通報中にリモコンの操作ボタンを押すと、通報音を停止できます。
●警告・警報後は警戒状態に戻り、再度異常を検知すると警告・警報します。

リモコンの電池交換

操作や通報がないのにリモコンのインジケータランプが点滅(4.5秒おきに1回点滅)したら、電池寿命です。

※本機リモコンには工場出荷時、電池を装着してありますが、この電池はモニター用の電池で記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

電池を交換する場合は下記手順で電池を交換してください。

●交換手順

1. リモコン裏面のネジをはすす
※ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2. 電池蓋を矢印方向にスライドさせる

3. 古い電池を取り出す

4. 電池の向きを確認してセットする

5. 電池蓋を取り付け、ネジを締める

6. 操作ボタンを5秒以上押しリモコンの電源をONにする

7. 古い電池を取り出す

8. 電池の向きを確認してセットする

9. 電池蓋を取り付け、ネジを締める

10. 操作ボタンを5秒以上押しリモコンの電源をONにする

11. 古い電池を取り出す

12. 電池の向きを確認してセットする

13. 電池蓋を取り付け、ネジを締める

14. 操作ボタンを5秒以上押しリモコンの電源をONにする

●交換手順

1. 裏面のネジをはすす
バッテリーカバーのネジを外しバッテリーカバーを外す
※本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。バッテリーカバー以外のネジには触れないでください。

2. バッテリーホルダー内のジャックから電池コネクタを抜き、電池を取り出す

3. バッテリーホルダー内のジャックに電池コネクタを挿入する

4. コードを挟まないように注意して、バッテリーカバーのネジを締める

△注意

●本機は、専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため、専用電池以外は使用できません。交換用電池は、お買い上げの販売店にご注文ください。
交換部品品番 BE3/V500HRT

こんなときは？

故障かな？と思われる場合や困ったときは、下記をご参照ください。それでも解決できない場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

●お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

●電子メールでのお問合せ先 service@yupiteru.co.jp

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

北海道 札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島 仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501

栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡 東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525

岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井 名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601

滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知 大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555

鳥取・島根・岡山・広島・山口 広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711

福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄 福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 記載の保証期間内に、本書に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

3. ご購入の贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷 (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、損害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷

5. アフターサービス等についてご不明の点は「こんなときは？」で確認していただき、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合せください。

●保証期間中のごとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器一式と電池を取り外してご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

●お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

●電子メールでのお問合せ先 service@yupiteru.co.jp

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

北海道 札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島 仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501

栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡 東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525

岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井 名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601

滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知 大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555

鳥取・島根・岡山・広島・山口 広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711

福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄 福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 記載の保証期間内に、本書に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

3. ご購入の贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷 (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、損害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷

5. アフターサービス等についてご不明の点は「こんなときは？」で確認していただき、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合せください。

●保証期間中のごとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器一式と電池を取り外してご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。